



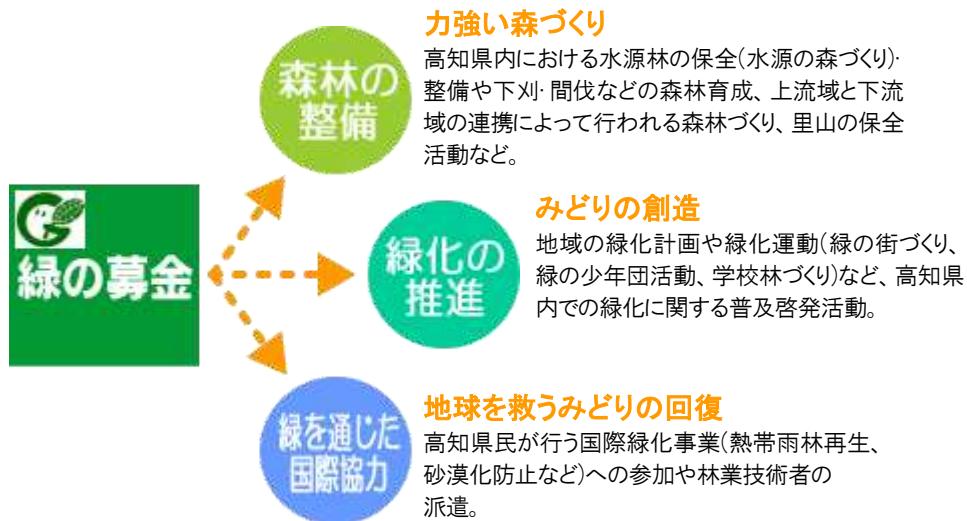
緑の募金 公募事業報告集

【令和2年度】

公益社団法人高知県森と緑の会

はじめに

緑の募金事業は、緑のボランティア活動を支援し、国民参加の森林づくり運動として展開することにより、国内はもとより地球規模で森林づくりを進める目的として、平成8年以降「緑の募金法」に基づき、全国で森林の整備、緑化の推進、緑の国際協力の3分野の事業を実施しています。



高知県では、公益社団法人高知県森と緑の会が「緑の募金」への寄付を募り、その管理運営を行っています。寄付いただいた緑の募金は、高知県内のさまざまな事業に活用されており、その主要事業としてボランティア団体等が行う地域に密着した森林の整備や緑化の推進に関する公募事業に助成しています。

令和2年度の公募事業には、7団体から7件の申請がありました。事業の原資となる緑の募金総額は平成30年に大幅に減少し、令和元年も微減して過去最低額となりました。そのような厳しい状況ではありますが、ボランティア団体等の支援は緑の募金で支援るべき事業と考え、前年よりやや少ない1,800千円の交付額を予定して運営協議会で審議し、その後の理事会で6団体6事業に対して総額1,800千円の交付が決定となりました。その後、コロナウイルスの影響で3団体が事業を中止したため、最終的な交付実績は3団体3事業で総額720千円となりました。

緑の募金にご協力いただいた方々や関係者の皆さんに事業について報告し、募金の意義や役割を認識していただくことは、今後の募金活動を維持・発展させていくうえで大変重要です。そこで、毎年報告集を作成して関係者に配布するとともに、当会ホームページに掲載し、各事業の概要についてご紹介しています。

県内の団体の皆さんにおかれましては、今後の活動の参考にしていただくとともに、県民の皆さまの緑の募金への理解の一助になれば幸いです。

今後とも、緑の募金へのご協力をよろしくお願ひいたします。

令和3年4月

公益社団法人高知県森と緑の会

〔目 次〕

令和2年度緑の募金公募事業一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

【森林の整備】

四万十上流森林公园づくり事業継続・整備	4
入野松原松苗植樹事業	5
大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	6

令和2年度緑の募金公募事業一覧表

森林の整備

番号	事業名	実施団体名	事業概要	実施場所	団体の所在地	実施予定日	交付決定額(事業総額)
1	山林保全育成事業【新】	仁淀川流域山林保全育成の会	高知県を代表する日本一の清流仁淀川上流域の水源涵養機能を高めるため、皆伐跡地に仁淀川流域の関係者により広葉樹1,000本を植樹する。伐採後の種子の芽生えや株からの萌芽等を適当に残し、その樹種を育てながら植樹との調和を図り大ヒラタの森として親しめる環境を整える。 ※コロナウイルスの影響で中止となった。	仁淀川町寄合大ヒラタ	仁淀川町	中止	0(0)
2	四万十上流域森林公園づくり事業継続・整備	四万十元気村農園	四万十川上流域に位置する集落の景観整備を行うことで、地域活性化につなげる。これまで植樹した場所の保全(草刈り等)と鳥獣被害により枯渇した場所の植樹を行った。	中土佐町大野見大股地区	中土佐町	8月～12月	94,000(94,234)
3	入野松原松苗植樹事業	入野松原保存会	名勝入野松原で森林病虫害による松枯れが広がっているため、黒松400本を植樹した。当初は小学生も参加の予定だったが、コロナウイルス感染防止の観点から中止とし、団体会員、地域住民、森林組合や関係団体の職員28名で植樹した。	幡多郡黒潮町入野松原	黒潮町	令和3年2月25日	360,000(365,200)
4	大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会	島ノ川渓谷を活かし地域活性化を図るため、カエデやミツマタ等の植樹を行い、景観整備を行った。当初は一般参加を募集する予定であったが、コロナウイルス感染防止の観点から団体会員等19名で植樹した。秋にはウォーキングイベント等を計画し、地域振興につなげていく。	中土佐町島ノ川地区	中土佐町	令和3年1月22日 2月13日	266,000(331,269)
5	船戸地区里山緑化プロジェクト【新】	船戸活性化委員会「四万十源流点」【新】	船戸地区の景観を守り、地元住民の森林や水に対する認識を深め、この景観を後世に引き継ぐために森林整備および緑化を行う。春には桜やハナモモが満開となり、秋には紅葉に染まる地域のシンボルとなる里山にするため植樹を実施する。 ※コロナウイルスの影響で中止となった。	津野町船戸字古土居	津野町	中止	0(0)
小計							720,000

緑化の推進

番号	事業名	実施団体名	事業概要	実施場所	団体の所在地	実施予定日	交付決定額(事業総額)
1	三嶺の森再生事業	三嶺の森をまもるみんなの会	2005年にシカの食害が顕著となった三嶺の森で、2007年以降、防鹿柵の設置や土砂流出防止マットの設置等に取り組んでいる。今年度は、シカの食害が顕著となっているみやびが丘で防鹿柵の新設や土砂流出防止マットの設置を実施する。 ※コロナウイルスの影響により5月に予定していた事業を10月に変更したが、10月も台風の影響により中止となった。	香美市物部町(みやびの丘)	香南市	中止	0(0)
小計							0
合計							720,000

森林の整備 1

事業名	四万十上流森林公園づくり事業継続・整備	団体名	四万十元気村農園			
実施場所	中土佐町大野見大股	実施日	令和2年8月～12月			
団体の所在地	中土佐町					
事業の目的 大野見大股地区は四万十川上流域に位置する集落で、集落内には四万十川最上流の沈下橋があり、文化的景観の重要な構成要素となっている。この場所の皆伐跡地や耕作放棄地に広葉樹を植樹して景観整備を行い、地域活性化につなげる。						
事業の概要 平成30年度、令和元年度に植樹した場所の維持管理として、草刈り等の定期的な手入れを行った。昨年度に鳥獣害防止のためのネットを設置したこと、その後の食害の被害は少なくなったが、これまでの被害で枯渇した場所の捕植として桜7本、モミジ1本を植樹した。この活動に地域住民等のべ20名が参加した。今後も定期的な手入れが必要であるが、この活動を継続することで過疎が進む集落の活性化につながることが期待できる。						

事業の様子



手入れの様子



植樹場所と植林地の境に設置した食害防止ネット

手入れ後の様子



活動を行った地域の皆さん

森林の整備 2

事業名	入野松原松苗植樹事業	団体名	入野松原保存会			
実施場所	幡多郡黒潮町入野松原	実施日	令和 3 年 2 月 25 日(木)			
団体の所在地	黒潮町					
事業の目的 黒潮町の国の名勝「入野松原」は黒潮町のシンボルであり、防潮・防風林の役割を果たしている。しかし、近年は深刻な松枯れが広がっており、平成 30 年度は例年の 4.5 倍の約 1,800 本の松枯れがあり、伐採本数は 2,000 本以上と大きな被害となっている。そのため、松苗の植樹を行い、入野松原を後世に引き継ぐために松林の再生を図る。						
事業の概要 平成 30 年度から毎年松苗 400 本の植樹を行っており、令和 2 年度も枯れた後の空白地に松苗 400 本を植樹した。普及啓発を兼ねて、地元の小学生と一緒に植樹する予定であったが、コロナウイルス感染防止の観点から中止となり、団体の会員や地域住民、森林組合等の関係者 28 名が参加して植樹を行った。						

事業の様子



植樹前



植樹後



植樹のようす



森林の整備 3

事業名	大野見島ノ川渓谷景観づくり事業	団体名	島ノ川渓谷等修景緑化推進委員会			
実施場所	中土佐町大野見島ノ川地区	実施日	令和 3 年 1 月 22 月 (金) 令和 3 年 2 月 13 日 (土)			
団体の所在地	中土佐町					
事業の目的						
島ノ川渓谷の景観整備のため、皆伐跡地等にミツマタやカエデ等の植樹を行い、四万十川流域の地域振興につなげる。植樹した苗木が見ごろとなる 11 月に島ノ川渓谷ウォーキング等の地域イベントを実施し、この場所の魅力を伝える。						
事業の概要						
1 月 22 日に団体メンバー 10 名で植樹予定地の草刈り等を行った。コロナウイルス感染防止の観点から、一般の参加者を募っての植樹は実施できなかったが、2 月 13 日に団体メンバーや関係者 19 名が参加してカエデやモミジ、ミツマタ等 107 本を植樹した。						

事業の様子



植樹前の草刈りの様子



植樹の様子



植樹された苗木

1円からはじめる森づくり。緑の募金はあなたから森へのプレゼント。



**緑の募金に関するお問い合わせ
緑の募金事業に関するお問い合わせ**

公益社団法人 高知県森と緑の会

〒781-8010 高知市桟橋通6丁目7番43号

総合保健協会合同庁舎5階

TEL : 088-855-3905 FAX : 088-855-3906

Email : info@moritomidori.com

URL : <http://www.moritomidori.com/>